

## 第2回香美市社会教育委員会議事録

日 時 令和8年3月25日(水)14時00分～16時00分  
場 所 香美市立中央公民館 2階会議室  
出席委員 佐々木委員長、中越副委員長、斎藤副委員長、近藤委員、永野委員、信<sup>ろ</sup>委員、  
濱<sup>ろ</sup>委員、福田委員  
事務局 前田教育長、中山次長、小松課長、西村館長、山重統括官、影山班長、宇根班長

宇根

定刻となりましたので、令和7年度第2回香美市社会教育委員会を開催させていただきます。本日は年度末のご多忙中、ご出席いただきありがとうございます。事務局を担当します、生涯学習振興課の宇根と申します。よろしくお願いたします。開会にあたりまして、教育長 前田より一言ご挨拶申し上げます。

前田教育長

皆さんこんにちは。教育長の前田でございます。開会にあたり一言ご挨拶を申し上げます。委員の皆様におかれましては、年度末の公私ともに何かとご多用のところ本日の会にご参加いただき、誠にありがとうございます。また平素より本市の生涯学習の振興、また社会教育の推進につきまして格別のご支援、ご指導を賜り、深く御礼申し上げます。社会教育には、地域住民一人ひとりが持つ資質や能力を高め、その地域活動を活かす「人づくり」、そういう人々の活動が地域の課題解決や活性化につながる「地域づくり」、そして活動を通じて住民の間に繋がりが生まれる「つながりづくり」という意義があるように思います。「人づくり」「地域づくり」「つながりづくり」というようなことであります。本日は令和7年度の事業報告と、令和8年度に向けた取り組みが中心の議題となります。限られた時間の中での協議ではございますが、子どもや地域の将来像を見据えた様々な観点からご意見を存分にいただき、香美市の全ての人が学び育つ社会づくりに向けて、熱心なご協議をよろしくお願い申し上げます。

宇根

ありがとうございました。

楮佐古委員が欠席、信崎委員が少し遅れるとの連絡がありました。現在、委員11名中7名にご出席いただいておりますので、過半数に達しておりますので、定足数を満たしていることをご報告いたします。

それではここからの議事の進行は委員長にお願いしたいと思います。

佐々木委員長

皆様お疲れさまです。年度末のお忙しい中、今年度2回目の社会教育委員会を開催したいと思ひます。早速議事に入りたいと思ひます。まず、令和7年度の主要事業実績としまして、事務局から報告をお願いします。

宇根

資料の議題1をご覧ください。

文化班から7年度の実績をご説明させていただきます。

まずは、あんばん放送で香美市一帯が盛り上がりました。香美市立やなせたかし記念館の実績をご報告させていただきます。あんばんと連動しまして、これまでやなせ先生が好まれなかったため実施してなかった作品解説や先生の歩みを追う特別展を、年間を通してpart1、part2として開催をいたしました。ドラマをご覧になってからお越しになるような年配層の方がかなり、これまでになく増えておりました、アンパンマンミュージアムを第一会場、詩とメルヘン絵本館を第二会場、別館を第三会場として、深く先生を知っていただく機会になったと思ひています。

令和7年3月29日、これはリニューアルオープン日になりますが、この伊井耕、3月22日までの入館者数は、27万2,154人となっております。4月から12月の実績では前年同期の約2倍、特に繁忙期には県外からも多くの方にお越しいただき、2.5倍になった日もあり、現在過去最高の入館者数となっております。令和7年度だけで言いますと、26万9467名、過去一番多かったのが「龍馬伝」と高速道路1000円が重なった時期は22万人から23万人でしたので、かなり今回あんばんをご覧になった方や、リニューアルを知って香美市にお越しいただいた方が多かったと考えております。11月22日にはリニューアルオープン後の来館者が20万人を超え、プレゼントや記念品贈呈をしてセレモニーをしております。あんばん関連事業としては今年度もイトーヨーカドーアリオ北砂店様において、高知県地産外商公社と協力して高知フェアでパネル展示を実施するなど関東地方でもPRもさせていただきました。来年度令和8年度には開館30周年を迎えますので、8年度事業としての地にご説明しますが準備を進めているところです。

つづきまして、地域日本語教室、香美市芸術祭です。「かみしにほんごサロン」の立ち上げをしまして、日本語以外を母国語として来日された外国人の方が急激に増える中で、いち生活者として共に過ごしていけるようにコミュニケーションを基本としたサロンをボランティアの方と一緒に運営しております。7年度4月にボランティアさんとの準備会を始めまして、5月の事前交流会から外国人の方とのサロンを実施しております。7年6月から8年2月まで、月1回になります定期的に開催して、外国人の方と学習支援者さん、ボランティアさんとの交流を通じて日本語の学習を行っております。登録者は17名ですが、後半になりまして定期的に参加されているのは3名程度となっており、SNSや広報誌での周知を個なっていますが、参加者の確保が今後の課題になっています。

香美市芸術祭は、例年通り市内の文化サークルと生涯学習振興課と実行委員会を組織し

て実施する事業となります。短歌・俳句の会、写真審査会、社交ダンスの発表会、文化展、芸能大会、土佐山田合唱団の定期演奏会ということで開催をしております。文化展の来場者数は、2日目が土砂降りだった影響があるかもしれませんが、昨年度の来場者数400人だったところ、約270人と少なくなっていました。来年度は広報活動に力を入れ、たくさんの方に来ていただけるように努力をしていきたいと考えています。

つづきまして、よってたかって生涯学習フォーラムですが、2月14日に開催しました。探究発表9団体、ステージ発表4団体、ポスターセッション19団体、体験コーナー22団体、食品・物品販売12団体の参加がありました。探究発表は令和5・6年度に実施しておりましたkamiプロジェクトアワードではなく、希望団体による発表としました。

次に図書館会場では恒例となりました映画上映会がアンケートによると好評でした。美術館でのワークショップ、缶バッジ作成も好評でした。来場者数は参加者、入場者を含めた数になりますが、3,021名で、目標とした人口の11%は達成しておりますけれども、昨年の約3,700人と比べると減少しております。集計の方法を変えたこともありますが、人口が引き続き減っていく中で、各関係団体と協力して広報活動などを行い、市民の新たな興味・探究に繋げていけるようにしていきたいと考えております。

次からはスポーツ班より説明させていただきます。

## 影山

資料をご覧ください。4月29日に恒例の体力づくり剣道錬成大会がありました。59団体306名が参加しております。8月30、31日にこちらも恒例の少年野球大会、山田ジュニアーズ、楠目スポーツ少年団他、近隣の少年野球6チームが参加しました。9月6、7日は中学校の招待野球大会ということで、鏡野中学校野球部を中心に近隣の中学校7チームが参加して試合を行っております。9月13、14日には香美市の冠試合として2日連続でファイティングドッグスが公式戦を行いました。9月から12月に香美市体育大会、種目としては男女混合バレー、バドミントン、グラウンドゴルフ、卓球、弓道その他、こういった競技を3か月に分けて・・・行っております。次に、11月8日には昨年度は中止でしたがファミリースポーツフェスティバルとしまして、土佐山田スタジアムでいろんなスポーツに触れるイベントを行い、181名に参加していただきました。1月2日には走り初めということで香北の川上様を中心に108名の方が正月早々走るというイベントをしております。1月25日に高知県市町村対抗駅伝競走大会ということで宿毛市へ遠征し、参加しました。そして3月1日ちびっこマラソン・リレーマラソン、こちらも恒例になっております、85名参加、リレーマラソンは7チームが参加しております。最後に、3月8日に第12回探究ウォーキングやなせたかし先生のうまれたまちを巡るということで、川上様から朴ノ木公園までを巡るウォーキングをしました。昨年度同じような内容です予定でしたが、雨で中止になったものの改めての仕切り直しで開催となっております。前回参加予定だった方に声掛けをしたのですが、体調不良とかいろいろありましてちょっと少ない4名の

参加となっております。スポーツ班の実績報告は以上です。

#### 宇根

つづきまして、文化財説明板設置計画についてご説明します。令和5年度からの計画で、香美市内の指定及び未指定文化財並びに国登録文化財の説明板を順に改修しております。素材やデザインを統一して作成しております。3年目となる令和7年度は大川上美良布神社、新改古墳、大栃ムクノキ、予岳寺の4枚を改修いたします。当初5枚の予定で始めておりましたが資材等高騰しております。4枚に縮小しての設置となりました。

つづきまして、美術館の展覧会実績となります。4月12日の平田慎一展に始まりまして6回の企画展を開催しました。今年度4月から香美市の方の入館料を無料としております。それ以前についての市内市外の区別ができていなかったもので、人数の比較ということではできていないですが、プラザ八王子でデイサービスや健診事業を実施していますので、無料であればということで、今まで来られなかった方が足を運んでくださる機会が多くなったように見受けられるということです。平田慎一展が1,046人、あんぱんの企画と連動したやなせたかしの時代・大正の夢は続く、こちらで956人、香美アートアニュアルはこれまで展覧会や個展を自身では開催されない方、新人の作家さんの発表の機会として美術館が実施しております。入場者は599人です。わくわく生きる人生100年は725人、具象から抽象へ・前衛の興亡が607人、3月22日で完了した怖い話と怖い絵は3月10日時点で882人となっています。アートアニュアルは新人さんの作家さんということもありますが、夏場は暑さが厳しく、来館者が減少する傾向にあり、課題になっています。

次に、公民館長から公民館事業の説明をお願いします。

#### 西村公民館長

はい、それでは公民館事業の説明をさせていただきます。今年度はやはりあんぱんの放送がありましたので、関連した方を講師にお招きし9月27日と28日に市民大学を実施しました。27日は脚本家の中園ミホさん、翌28日にNHK制作統括プロデューサーの倉崎憲さんで、現地会場とオンライン会場併せまして750名の参加がありました。申し込みがかなり多かったのですが、会場に限りがあり、抽選をさせていただきました。つづきまして市民セミナーですが6教室ものづくり教室や趣味教養教室などを開催しております。続いてこども教室であります将棋囲碁教室、科学教室、夏休み教室・・・多くの方に参加いただいております。毎週土曜日に開催するものや夏休みだけのものなど様々な教室がございます。続いて人材バンクですが、2名の新規登録がありました。中央公民館の事業としては以上になります。

地区公民館では、それぞれ11の地区公民館がございます。それぞれ特色のある地区公民館で、例えば山田地区にありましたはつらつ体操でありますとか、そのほか健康体操、卓球教室、料理教室など、地区に応じた活動をしています。公民館からは以上です。

佐々木委員長

はい、ありがとうございます。今年度はまた特にあんばんの放映があったことからたくさんの方が香美市へおいでいただいたということで、やなせたかし記念館も大変にぎわったと思います。またこれを継続していくということがなかなか大変なことと思いますけれども、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。令和7年度の主要事業についてご質問ございませんでしょうか。

中越委員

2点ありまして、まず地域日本語教室ですが17名のエントリーがあつて定期的に来ているのが3名という話でしたが、この17名の年齢層ってどんな感じになっているんですか。

それから、スポーツ班の事業実績のところと直接は関係ないですが、小中学校の部活動の地域移行というのはどんな進捗状況になっているのか教えて下さい。

佐々木委員長

日本語教室の立ち上げはどちら。

宇根

はい。日本語教室は文化班からお応えします。外国人の方が17名。20代後半から30代前半の方で、農業実習生で来られた方が大半です。現在定着して来てくださっているのが、学校のALTの方と農業実習で香美市に来られている方、もう一人は元々技能実習で来られて現在は香美市でご家族をもって住まわれている方の3名が定着して来てくれています。以上です。

中越委員

基本、高校とか大学を卒業された方が来ているということですよ。若い人がいるのなら高校生もいるのかなと思って気になって。

宇根

現在は基本的にはお仕事で来られている方しか、今年度は来られていなかったです。

中越委員

ご家族をもっている方もいらっしゃるということなので今後そういうこともあり得るのか。

宇根

そうですね。

福田委員

ちょっとそこ広げてもいいですか。それ気になっていて。たくさん今いるじゃないですか。うちの家の前にも10人くらい住んでいるんですよ。多分ベトナムの子らだと思っただけですが。やっぱりコミュニケーションを取るのが難しいんですよ。朝会ったらおはよう、帰ってきた時に会えばこんばんは、くらいの会話なんですけど。その、最初の教育長の話にあった「つながりづくり」というのが大きなテーマじゃないかなと。すべてのみんなから感じていて、なんかここもうちちょっと一工夫できないかなと思っています。そこまで我々が踏み込むべきものなのかどうかですが、立ち上げているのなら踏み込んでもいいかな。おそらくほとんど生姜屋さんなんですよ。うちの前の子らは。しょっちゅう会っているんですが、会社のほうとうまく連携が取れないかなと思ったりしたんです。仕事が終わって家に帰って出てくるのが面倒くさいじゃないですか。18:30からですと言われても…。会社のほうとうまくやることで、会社のほうとしても香美市の会社に行ったら地域の人とお話をして日本語も覚えて帰ってきたよということになれば、それはそれでいいPRになるので何かできないかなというのは、ちょっと思いました。もったいないなど。

宇根

立ち上げの準備をしている段階で、高知県国際交流協会さんと協力してのイベント、また企業の方に参加していただいたセミナーと言いますか、実際そのサロンに通わされている雇用者の方に来て講演も立ち上げ前にして、サロンを始めますということで知ってもらう目的も兼ねてやっていました。その後は、監理団体さんだったりバリューさんやサロンの広報関係をお送りしたりしております。お問い合わせをいただくこともぽつぽつはありますが、なかなか広がっていないところなんです。外国人の方はLINEよりFacebookを見る方も多いとのことで、フェイスブックへもサロンのお知らせを掲載するなど、少しずつ媒体を増やしています。

福田委員

多分それも見えてないでしょうね。もう直接生姜さんの入り口でビラを配ったと思うくらい、結構求めている子らもいるはいるんですよ。お話する子もいるけど、絶対話さない子らもいるし、それが2~3年いるわけじゃないですか。もったいないなどと思って。うまい具合にパイプが作れたら。

宇根

来てくれている方は楽しんでくださっています。

福田委員

そうですね。来たら楽しいと思います。3人がずっと来てくれるということは。

宇根

友達をぜひ誘ってください、ボランティアさんにも近所の外国人の方に声を掛けてくださいとお伝えしたりしていますが。

福田委員

なかなか声を掛けにくいですよ。声を掛けにくし、言葉が通じない。英語も通じない。だから僕も前の子とのコミュニケーションはおおごとです。どの言葉で通用しているかわからないくらいの話をしてはいますが、ちょっと広がったらいいなという感覚で・・・

宇根

知ってもらうことに苦慮しています。雇用者の方、一般の農家、個人的な農家の方も多くて、なかなかその行き先まで届けるといところが難しく、近所の方に知ってもらうとか、雇用者の方に知ってもらおうということで、日本語で香美市の広報やLINE、インスタにも出していますが。

福田委員

どこまで真面目にやるかなんですけど、もし真面目にやるなら絶対登録はしているわけですから、市役所に一回行ったらわかるはずなんですよ。どこに誰がいるか。どこの国から来た人が何人香美市にいるかなんて、市役所ならわかりますよね。

宇根

わかります。

福田委員

教育委員会でやるとわからないかもしれないけど、住民かどうかは行けばわかるし、そこへ案内を持っていくのは簡単なことだと・・・

宇根

住民登録に来られた外国人さん向けに窓口でお知らせを渡してもらえないかなということで当初考えたのですが、個別に案内を渡せる状況にはなっていません。

福田委員

うちで手紙を作ってチラシを手渡しすればいいんじゃないか。

宇根

そうですね。窓口に設置をしています。

佐々木委員長

ベトナムの方が多い？

宇根

一番多いです。次がインドネシア。以前は中国の方が多かったようですが、今はベトナムの方が一番多くなっています。

佐々木委員長

研修制度に縛りはあるんですか。研修で来ている方たちに縛りはあるんですか。こんなことはしてはいけないなど。

宇根

来日された資格によって3年だったり5年だったりします。

佐々木委員長

年数の制限で。中身と言うか、こういうのは参加できるよとか、そんなのは特に縛りはない？

宇根

それはないと思います。

永野委員

農業実習生に対してそういうのはないです。ビザの発行年数だけの問題で3年か5年かというだけで、最長が5年で、農業実習生じゃなくて・・・農業が職業として入ってくる人たちがいるので、その人たちは5年の縛りでずっと入ってこれるので、結構話はしやすいと思います。

ただ、僕からするとなぜ水曜日の18:30から20:00にしているのかがわからない。

宇根

アンケートを学習者さんと支援者さんの両方にとった結果、どうしても学習を助けてくれるボランティアさんのご都合もあって・・・

永野委員

農業実習生の方の休みって金曜日なんです。水曜日は仕事になるので、だいたい月曜日が出荷をしなくてよくなります。月曜日の出荷が最終なので、金曜日が休みのことが多いです。もしくは月曜日ということが多いので、なぜそこに合わせてあげないのかなと思って。休みの日の、夜じゃなくて昼間にやってあげるとかすると、もっと来やすくなるし買い物ついでに寄ってみようかとなってくると思うので、一度アンケートを取りなおしたほうがいいのかなと思います。

宇根

金曜日だと昼間でも参加可能でしょうか。

永野委員

多分。金曜日とか月曜日が休みというところが多いと思います。ニラややっこねぎはそういうところが多いので。そこに農業実習生がほぼほぼ6割近くは行っておられるので、そこを狙ったほうがもっと集客も上がるだろうし、もっと幅が広がるかもしれません。

それと多分香美市には5つくらいネットワーク関係の就業をさせるためのものがあるのですが、そこにも同じようなアンケートをかけて、実際その人たちがいつ休みでどういう動きをしているのか確認をしたほうが、もっとこの日本語教室を広めたければそこまではしたほうがいいかもしれません。ただ、これ以上する必要がない、人数が多くなりすぎると困るということであれば、そこまでした方がよい。ただ、参加者が15名程となって、そこにボランティアさんがいてがいいと思いますので。

宇根

はい。本日、にほんごサロンボランティアさんとの準備会がありますので、相談して、検討していきたいと思います。

影山

それでは部活動の地域展開に関する質問について、スポーツ班からお応えします。部活動の地域移行は、鏡野中学校を中心に進めています。令和7年度はソフトテニス、卓球、吹奏楽、野球など、協力者の方にご協力をいただいております。令和8年度も継続して、学校にヒアリングをおこなった上で、部活指導員がいない部活に関しましては、部活指導協力者の方にまたご協力をいただこうと考えております。そして新たな動きとしまして、保護者の方から、土日の部活動について、保護者自らが教えたいという話もありまして、今年になってからですけど、野球と剣道については保護者の方が土日の指導していただけるということで、施設使用料免除としているところがございます。そういった保護者の方自らこう手を挙げて指導いただけるというようなこともあります、広がっていただければ、ありが

たいというところが正直なところでございます。香美市の部活動の実績としては今のところ以上です。

前田教育長

法が改正されてですね、あと3年で教員の働き方改革のところ、30時間っていう、超過勤務を目標にしないかと設定されてるんです。何年か前は45時間以内とかいったようなことでしたけども。30時間っていう立て付けで行くと、まずあの土日の部活動を、4週間の土日をどっか一回やっていたら、それだけで30時間となることもありますので。国の立て付けが、土日の学校の部活動は教員以外に早く預けなさい、とそういうメッセージが一つやと思うんです。それで、とにかく、まあ生涯ともよく話もするんですけども、とにかく、まずは土日の部活動を地域に協力願う。どうしても大会とか行った場合は、仕方がないんですけど、それ以外は、地域へ協力願うということが一点です。あと地域移行の話になってくると、なかなか、難しいところも現実にあります。この前も、南国市なんかで、一か月の参加料5,000円とか。そういう保護者負担もまた発生します。例えば野球が、南ブロックでちょっと地域移行させてるんですよ。横浜や三里とか、なんとかとか。で、そこはもう、あの、教育行政からも独立して移行してますので。これ、自営せなあかんわけですよ。で、部費を集めるだけでは、その野球のボール代も賄えないので。スポンサーを探して、監督が街を歩き回って協賛金を集めながらその運営資金をっていう形でやってるところもあります。この香美市がそういうふうな形でやれるのかどうかかいうところもありますので、当面は行政側のほうがちょっとバックアップをしながら土日。次に少しずつ地域に移すものは、その土日を引き受けてくれている方々の中で、移ってもかまわないよとか、引き受けてくれる場所があれば引き継いでいく。そういうステップとか方向になろうかと思えます。

永野委員

私は鏡野中学校の運営協議会にもいますので、地域移行についてはすごく心配しています。前田教育長がおっしゃられた通り、令和9年度以降からは、月30時間っていうのが決まっているので、まず土日ができません。そうなったときに地域移行ってなかなか今とこできない状態で、そのまま土日が空いて子どもが部活もないまま、野に放たれると、実際鏡野中学校の子どもって結構ヤンチャな子が多いので。今までそういう事例があったときにはだいたい、いろんなことが起こってきたこともあったので。非常にやっぱり怖い。それとあわせて、一番は先生方の中には、部活動指導をすることによって、言うたら子どもたちとのつながりもあつちゅうところもあると。学校に来にくいけれど部活があつて先輩おるし指導者おるきやるいうところもあるので。そういったこともやっぱり加味していかなければいけないがやないろうかという話も出てます。

ただ、なかなかこれ教育委員会だけで決められるようなことでは絶対ないことなんです。香美市としてどうしていくのかっていう、やっぱり方針を立てないと。やっぱり全体として、も

う熊本市みたいにもうやらないときめる。ただその部分に関してはしっかりと教員ともう一回協議してやります、とかっていう形の部分を出すとか。もうやりますって言って一気に地域移行するのかっていう、風なのをやっぱり決めていかないと。どうしてももう、先生の仕事改革っていうのはどんどん、どんどん進められていっている状況なので。早めに結論を出してほしいっていうのもあって、運営協議会としても、年間で会議をする中で地域移行について話をしていけないといけないですけど、やっぱり教育委員会も交えて、市と、教育長と直々に協議をしなければいけないがやないろうかという話が出てきてます。で、できれば、えっと、4月以降にそういう嘆願書というか、まあ、こういうふうにしていきませんかというような提案書を出させていただきたいというのが、ま、鏡野中学校の運営協議会であり、鏡野中学校の意向です。あと一応、活動支援員として予算をいただいていますけど、実際、秋、11月ごろになると、ほとんど予算がありません。それから以降は、その方たちに、学校もお願いして来てもらっている。対価をしっかりと払うから、ちょっと責任も持って話ができるわけですけど、なかなかそういったもんもしづらくなってくるというのも実際問題としてあります。そういった部分に関して、もう例えば11月に足りなくなると分かれば補正をかけていただくとかっていう形の部分で、しっかりとそこに、なんとか支援として来ていただいてもらえる形を作ってもらいたいということと、あわせて地域移行に関して、先ほど教育長おっしゃられた通りに、地域移行すると、まるまる言うたら学校から離れ、教育委員会も離れてしまうんで、一切の補助がありません。それを言うたら、いきなり言うたら話してしまって、さあやってくださいと言ったときに、やっぱり先ほど言ったように月謝であったりとかいうことで、えっと、ま、子どもたちの格差ができる可能性があります。なのでお金があるところはできるけれど、お金がなかったらできません。まして言うたら、車で言うたらコーチに参加するときには車で言うたら送迎しててくださいと言われたときにも行ける人もおれば行けない人もおる。となかなかそういう格差ができてきて子どもたちの平等性が一切なくなってくる可能性も高い。そういった上ではある程度やっぱり市が言うたら最初の5年なり10年なりで補助を出してあげて、しっかりと運営できる体制を作ってもらえるようなことができないかということもあわせて話もしていきたい。そうすることによって、(地域移行は)中央集権の考え方なので。中央集権であれば電車一駅乗れば他のところへ行ってスポーツジムがありフィールドがありってできるわけですけど、この香美市の中でフィールド探してもなかなかないですし、スポーツジム行けと言っても、ま、一軒、あるぐらい、ですよ。あとは一番近くでもこの(香南市にある)青少年センターか、もしくはセレネかのちょっとした器具を借りるぐらいしかないというような状態。なかなかそういったことでも難しいところでもありますので、そういったものも踏まえた上で、やっぱり話をしていけないと、ちょっと、やっぱり先生方の憤りっていうのがすごく感じているので、ぜひ進めていただきたいなと思ってます。で、実際先生方自体言うたら、えっと、30年前と部活の数って変わってないので。それで子どもも少なくなって、最終的に言うたら先生も減っている。もう賄えない部分が出てきているので。そういったことも踏まえた上で、

やっぱり話をすすめさせてもらいたい、っていうようなことを言っておられましたので、今、お伝えさせていただきます。

前田教育長

熊本市は早々に、あの部活動地域展開はしませんと。地域移行はしないともう、方針が出て1年も経たないうちにもうしませんと。で、一方、神戸市はもう全ての部活動を地域に移行させますと。結局神戸市なんか、電車多分何駅かのうちに、ほとんどの部、運動するフィールドがあるんですね、テニス教室、卓球教室、水泳って。ま、そういう、あの、地域的なその状況によってそう判断もすごく違ってくるんですけど、ま、基本的には、あの教員の働き方改革のところもありますので、できるものは段階的に移していけないと思いますけど、運動難民に子どもがなってしまうっていうことは、まあ子ども将来的にもものすごく、損失になりますので、そこら辺は、状況を見ながら、精一杯、歩みを、進めないといけない思っているところです。

佐々木委員長

では、時間の都合もありますので、議題2、令和8年度主要事業概要の説明を事務局お願いします。

宇根

令和8年度の予定について説明します。まず、文化班からご説明させていただきます。来年度は、よさこい高知文化祭2026の開催がございます。高知県では初の国民文化祭の開催となります。観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の核関連分野における施策と連携し、地域の文化資源等の特色を活かした国内最大級の文化の祭典となります。文化交流事業として香美市では、一般社団法人日本絵手紙協会さんにご協力して、11月7・8日で絵手紙展をプラザ八王子で開催いたします。続いて、11月13日から15日には公益財団法人いけばな芸術協会さんのご協力、いけばな芸術展を同じくプラザ八王子にて開催いたします。また、地域文化発信事業としまして、多くは既存の事業に冠をつけまして協力して（国民文化祭）のPRを図る事業となります。その中で、美術館の第120回企画展「ホスピタルアート・癒しの力」では、作品解説の手話動画を作成し、ロビーで流すよう計画しております。毎回、企画展中は、日曜日に学芸による作品解説を実施しておりますが、健常者の方向けになってしまいますので、よさこい高知文化祭地域文化発信事業として実施する「ホスピタルアート展」につきまして、手話動画によって、聴覚障害の方にもギャラリートークを楽しんでいただける機会にしたいと考えております。

また、昨年度開設しました地域日本語教室につきまして、今年度も引き続き実施してまいります。本日、来年度に向けた準備会を予定しておりますので、曜日やイベントなど検討していきます。香美市芸術祭は、先ほどご説明しましたよさこい高知文化祭2026のなかで、地

域文化発信事業として、例年通り実施してまいります。

続きまして、スポーツ班からご説明します。

影山

社会教育施設予約システム、令和5年度に導入しましたが、令和7年度現時点で、939の登録があり、徐々に増えております。続いて、合併20周年記念香美市横断完歩チャレンジを実施します。3月1日で香美市合併20周年となったことを記念して、5月16日に物部町と徳島県の県境から土佐山田町と南国市の市境まで195号を約50キロメートル歩く完歩チャレンジを実施します。スケジュールとしましては、バリューノアに集合した後、スタート地点の四つ足峠まで移動し、そこから歩いて下ってくる形になります。最終のタイムリミットが午後6時までにバリューノアのゴールに到着してくださいということになっています。香美市にゆかりのある方ということで、30名の参加者を募集しております。現在、12名の応募がありまして、まだ空きがありますので、やってみようという方がいましたら、また応募していただけたらと思います。また、香北物部のチェックポイントでは、市にゆかりの特産品等でおもてなしをしたいと考えています。また、参加の方には、記念メダルをお渡しするようにしております。工科大学にも学生支援課を通して広報しております。以上です。

宇根

続きまして、文化財室の事業についてご説明します。4年目となる文化財説明板の取替、設置は、令和8年度は小松神社、神母神社、谷秦山墓、塩峯公土方神社の4枚を予定しています。

次に、美術館の展覧会の予定となります。令和8年度は4月18日の「森に行きましょう」から始まります。6月20日からは「家族のかたち」、8月22日から「祈りと願い」、10月31日からは、先にご報告しましたよさこい高知文化祭2026の地域文化発信事業として実施します「ホスピタルアート・癒しの力 小笠原まき」、2月17日から「アーティストブック展」となります。こちらは令和4年度の図書館開館の際に、開館記念展として実施しております。普段展示しない多様な展示が好評であったことから、第2弾の企画となりました。また事業としては、小学生向け、大人向けワークショップを実施しており、小学生向けは基本的に夏休み期間中の実施となっております。また、企画展と連動したワークショップや現館長のワークショップを実施します。また、展覧会の会期中には作品解説を実施。鑑賞教育として、保育園や小中学校、高校生向けに展覧会の解説等も実施しております。また、展示室やアトリエは、文化サークルや美術部の展覧会等への貸室も行っております。

続いて、公民館からご説明いたします。

西村公民館長

令和7年度に引き続きまして市民大学を8月から9月頃開催いたします。内容について

は現在検討中です。市民セミナーにつきましては、健康・教養・体験学習などをテーマにした6～8教室を予定しております。子ども教室につきましても、将棋囲碁教室、科学教室、夏休み教室、書初め大会などの実施をしております。人材バンクにつきましても、芸術文化を中心に、実施をしております。地区公民館の事業につきましても、健康体操教室、卓球教室、陶芸教室など特色のある取り組みを実施していきたいと考えています。

佐々木委員長

事務局からの説明がありました。何かご質問のある方はいらっしゃいますか。

福田委員

よさこい高知文化祭はいつからいつまでの期間ですか。

宇根

令和8年10月25日から12月6日までの期間となります。

福田委員

その間に、県内でいろんな文化的なことが行われるということですか？

全国の文化団体が来て何かやるみたいな。その中で、香美市でやるのは？

宇根

香美市で実施する事業が、絵手紙展といけばな芸術展です。文化団体さんと協力して実施します。

福田委員

体育大会はわかりやすく、全国から来て野球して、勝ったら優勝ですよ。文化団体さんは、全国からきて、ここで何をやるんですか？

宇根

展示と体験教室となります。

福田委員

全国のいけばなの人が香美市に来るの？

宇根

協会のスタッフが中心となって、いろいろな県で国民文化祭を開催される際に、国民文化祭への協力、また絵手紙やいけばなの普及のため、ということで関係者の方や地元団体と

協力して、実施する事業となります。

福田委員

全国からいけばなの人がきて競うということではない？

宇根

競い合う事業ではなく、協会が招聘した先生や地元の方がいけてくれた花を展示し、来場者の方に見ていただく、一般の方には体験教室を実施する事業です。

小松課長

今回、いけばなの事業が大きく2つあって、会場の大きさや、交通機関の状況など踏まえたマッチングを県でして、その結果、いけばな芸術協会さんが、香美市に来てくださることになったところです。

福田委員

国民体育大会とイメージがかぶってしまうので。皿鉢祭りとかぶってしまってます。皿鉢がバーと並んでっていうような大会じゃないんですか？

小松課長

文化の普及、振興のために、中央的な境界が協力してくれて、各県で国民文化祭にあわせてする事業です。

永野委員

高校生とかの全国的な大会と一緒にやるという話が出ていたように思いますが。放送部とかやったら放送大会とか。

佐々木委員長

主催に、協会があるので、そこの推薦を受けられた方が、絵手紙を作品やいけばなの作品を作成し、それを鑑賞するというのでしょうか。

小松課長

おっしゃる通りです。

佐々木委員長

とういことですが、いかがでしょうか。

福田委員

わかりました。それで、芸術祭と繋げたかった。香美市の。コラボ企画を一杯やったらいいのになど。さらにコラボして、よってたかって生涯学習フォーラムとコラボして、冬の香美市芸術祭となるように、してはどうかと、ぼくたちが勝手にやっている会では盛り上がっているんです。冬の芸術祭として、商工会が商店街で昭和横丁みたいなことをやって、とかどンドン膨らんでいくんですよ。生涯学習とかに、物語がいると思っていて、教育長が冒頭で行った、人づくり、まちづくり、繋がりづくり。こういうことが、一つの絵になったらすごいんですよ。でもならない。これがもったいない。こんな機会があったら、その時にやったらいいんじゃないかと。全体はそういう趣旨でした。

佐々木委員長

貴重なご意見をいただきました。よってたかって生涯学習フォーラムは令和 8 年度はやらないんですか。

宇根

いえ、会場となる山田高校さんが工事となるため、会場として利用できるかどうか不透明になりますので、事務局内で山田高校さんと協議をした中では、山田小学校体育館、中央公民館、新西庁舎にメイン会場を分散させて開催する計画をしていく予定としております。

永野委員

集客が課題ですね。

宇根

過去、会場を分けた際は、来場が少ない会場もあり、そこが課題です。

福田委員

商工会も、なんかやってよと頼んでやってもらったら。

佐々木委員長

例えば、山田小学校では発表をしています。中央公民館では講座をやっていますとするときに、開催の予算はありますか。

宇根

はい。例年通りの予算を確保しています。工事の関係で、2年ほどは会場分けて実施していく必要がありますが、例年協力してくださっている団体さんや、市民の方には、この時期にフォーラムがあるということをなんとなく浸透できてきているところですので、できる方法を考えていきたい。

福田委員

道に、点々と出展してもらったら。街を挙げてやったらいいじゃない。車を止めて、縁日にするぐらいでやったらいい。まつりなんだと。いうくらいのことをやるチャンス。

佐々木委員長

また事務局で検討してください。

その他には。

永野委員

よってたかって生涯学習フォーラムですけど、こどもが集客のメインなので、減っていくのは当たり前なんです。以前は推進官がいて、企画を検討していた。これをやらないといけない。生涯学習振興課だけでは無理なんです。他も巻き込んでやってもらいたい。あと、中央公民館事業でこども事業がありましたけれども、学校班とも関係があるがですけども、いま、(学童の) 待機児童がたくさん出ています。山田小学校で28名、楠目小学校、大宮小学校でも十数名ずつぐらいでてます。子ども教室を学校でついでやってるのは、香長小と山小だけ。楠目、大宮は予算がないといわれてできてません。僕からすると、香美市民のための対策するのに、こことここはできて、こっちはできませんというのは本来はおかしい。そういった部分でも、香美市でこども教室として夏休み教室をするのであれば、援助をしてもらって、楠目とか大宮の待機児童に何らかの施策が取れないかなということが一つ。もう一つは、公民館の館長主事さんが高齢化になって、なかなか大変になって、主事さんがいないところが、知っている範囲で2箇所か3箇所。これってどういう風な選考で決めようかを教えてください。

西村館長

今年も(人気の) 変わり目でかなりの方が変わるんですけど、館長主事さんがおって、次に運営委員会の方がおりまして、高齢になって辞められるときなどは、次の方を推薦いただいて、運営委員会で決まる。特に、主事さんのなり手がなかなかない状況です。探してはいただいているんですが、館長か主事かどちらかは必ずいていただくようにはしています。

永野委員

ぼくは片地ですけど、片地の館長から電話があって、やってくれんろうかといわれるんですけど、やるのはいいけど運営委員さんがおるがやき、運営委員さんから出てくれんがと聞いたら、そこまでやってくれる気概がないし、頼める人やないき何とかやってくれんろうかと。世代的にもうちちょっと考えらせてくださいとお断りはしたんですが、市として公民館で大事なところじゃないですか。運営委員会まかせではなくて、館長さんとか主事さんになる

人を育成していくという考え方もしていかなんといかなんじゃないかと。僕はコミュニティスクールもやっているの、学校に地域支援員さんがいるんですけど、その方たちは小学校に引っ付いていて、地域の人もいっぱい知っちゃうがです。そういう方々が、もし退任された後に、そのまま公民館の主事なり館長なりやってくれるよう位置づけすれば、いろんな形でつながっていくことができるし、そんなことができないのかなってすごく思っています。新たに一から覚えるよりは、より一層幅が広がってくるんじゃないかなと。ぜひそんな考えを持っていただければと思います。以上です。

佐々木委員長

では、議題3「図書館の現状と課題」をお願いいたします。

山重統括官

はい。今のかみーるは、令和4年11月3日にオープンしまして、今年で丸4年です。ちょうど図書館の利用カードの期限が4年なのですが、資料の1は有効期限が過ぎていない有効登録者の状況です。かみーるできてから登録された方がすごく多いんですが、香美市全体では、12月末現在で、11,277の方が登録されていて、1月1日の人口が24,256人なので、人口の約46%の人が登録をいただいています。図書館としては、過半数の方が登録してくれることが望ましいと思っていて、広報活動頑張りたいと思っています。市外の方が3,500人以上登録してくださっていて、県外の方も100人近く登録があります。もともとこちらのご出身で、時々帰ってきているという方も多いんですけど。図書館で、基本的には地元密着で、地元の方の利用が多い施設ではあるんですけども、建物を建築の視点で見たい人がいたり、他にない特徴がある間でもありますので、香美市外から、図書館に遊びに来られる方も多い図書館になっています。貸し出しの内訳ですけど、だいたい年間で12万冊前後ですので、1カ月に1万冊前後ですが、正直貸出分野は偏っていて、以前の図書館からの影響もあると思うんですけど、やはり一般文学が全体の30%近くで、絵本が20%超えています。これもすごい数字なんですけど。児童文学で6%以上あります。文学と絵本で全体の半分を超えています。悪いことではないんですけども、その他の分野の本の貸出ももっと伸ばせないかというのが図書館としても課題と認識しています。注目すべきなのは、左側の一番下なんですけど、オーテピア島からの取り寄せが2%ぐらいあるんですよ。要するに50冊に1冊はオーテピアや他の図書館からの取り寄せになっている、貸してもらっているということなので、本当は、これだけのニーズがあるので、もっと本があってもいいと正直思っています。仮にもっと本があれば、おそらく借りられる地域かなと思います。現状、かみーるは施設を新しくしてもらったので、本棚の一番下があいているんです。本棚の一番下は腰屈めないといけないので、あけられる間は、一番下は空けています。そこに入れれば、入れることはできるので、資料を増やしていきたい。文学や絵本の貸出のニーズはあるので。香美市、財政は苦しいんですけども、資料費は頑張って(予算)いた

だいていて、概ね1千万近くありますので、日本の公共図書館の同じ人口規模のところよりは多いです。文部科学省として、資料費の目安の数値は出されていないんですが、公益社団法人日本図書館協会の「公立図書館の任務と目標」という本を作っていて、2023年の改訂版で、それにしたがって香美市の人口規模で一人当たりどのくらいの資料費が望ましいかを計算すると、ほぼ12,000,000円です。ですので、今、概ね10,000,000円くらいなので、後3,000,000円出すと達成できます。なので、悪くはない。その2,3,000,000円が大変なんでしょうけれど。悪くはない、ですので全国で注目してくださる方もいらっしゃいますし、これで、4年間推移していますので、カードの期限が切れたとき、更新してくれるかどうか不安なところがあるんですが、徐々に文学や絵本以外の分野の本ももっとあるところをアピールして、そっちの貸出が増えてくれば今後はそれなりに持続ができるかなと思います。図書館は子どもの七五三と同じで、新しくしても3年くらいしか持たない図書館と、5年くらいで低迷するところと、7年超せば結構持続できていて、オーテピア高知図書館は七五三を乗り越せたので、ライブラリーオブザイヤーとかをもらえたんですが、かみーも、3年目はとりあえず越せたので、7年後、今から言うと3~4年持続できれば、行けるかなという風に考えています。香美市の図書館の特色、今から新しくできる図書館も同じですけど、非常にたくさん展示を行っています。館内で。図書館で本を展示すると、場所が移動して探しにくいって怒られることもあるので嫌がる図書館も多いんですが、かみーではあんまりそういうことを気にしないので、ちょっと普段目立たない分野の本を展示したりして、貸出していますので、そういうことも引き続き実施して、文学以外の分野の貸出を伸ばしたいと思っていますところ。簡単ですが、以上です。

佐々木委員長

ありがとうございます。図書館の関係で質問ある方。

濱ノ委員

新しい駐車場はいつから使えますか。

山重統括官

4月1日からは難しいですが、4月中にはなると思います。

濱ノ委員

祭日の開館はできないか。

山重統括官

今も日曜日と重なった祝日は開館しています。祝日は、かみーになる前は開館していたんですが、開館前は私自身検討委員として参加していて、図書館は実はいろいろな利用者が

りうのでそれに対応できる職員がいなければ、休館もやむを得ないと発言しています。職員は（祝日会館に必要な職員数まで）増やせなかったのが、休館にしています。体制を整えればできると思いますが、司書が全員会計年度任用職員なので、そもそも日数が出られないということがあります。

濱ノ委員

ホールでイベントをするときに、祭日にイベントをすることはできる？

山重統括官

ホールに近いところに（外部との）出入り口を設けているので、一つの方法として、職員が全く出勤しないということは難しいですけど、ホールの部分だけ休館日でもあけるということは一応対応可能な施設ではあります。建物自体は、休館日もあれば、（イベントの）時間が遅くなることもあると思うんです。図書館自体は19時閉館だけど、コンサートとかもっと遅くなるようなこともあるので、そのように建物は作ってもらっているの。

濱ノ委員

それはでも一般の人には、広報とかしてはないですね。

山重統括官

まだそこまでの企画をやってないからだと思います。19時までに終わる企画がほとんどというか、19時を超える企画や祝日にやる企画は今までやってない。開館日の土日にやっていることがほとんどです。

濱ノ委員

知らないからできないのでは。

山重統括官

どうしても祝日ということであればですが、通常は開館日と重なる土日で、日曜は祝日であっても開館していますので、基本的には日曜の催しの方が人はくるので、日曜日休みになることはほとんどないので、それで済んでいるというところが実態かなと思います。

佐々木委員長

よろしいでしょうか。ではほかに。

内容でしたら議事は以上になりますが、その他で人権を先に報告をお願いいたします。

小松課長

令和8年度からの人権関係の業務につきまして、組織再編によりまして、令和8年4月から人権に係る業務を総務課の人権係で行うこととなりました。総務課の人権係はふれあい交流センターと宝町集会所が執務室となっております。これまで教育委員会生涯学習振興課で行ってまいりました人権関係の業務について宝町集会所に職員が配置されて行うこととなります。今回の組織再編は、人権関係の業務を集約して、業務がより効率的にかつ効果的に実施できるようにするためのものです。関係機関等とはこれまでと変わりなく連携しながら、香美市での人権教育・啓発の推進を行ってまいりたいという風に考えております。なお、教育委員会の業務として行っていた生涯学習振興課の人権業務が教育委員会の所感であるということに変わりなく、総務課人権係が補助執行の形で行うことで、これまで通りということになります。執務場所が宝町集会所となり、総務課の職員が事務に当たるということで、これまでとサービスに変わりはありません。よろしくお願いいたします。

佐々木委員長

全体を通じまして、何か。

近藤委員

施設予約システムの登録がすごく増えているんですが、登録がこんなにあるんだとびっくりしたんですが、どんな分野の団体が増えているのか、香美市内のグループなのか、市外のグループなのか、そのあたりの情報がしりたいのと、あともし市内の団体さんで、情報を公開していいのかみたいな話は全然ないと思うので、社会教育を広げるきっかけというか、これだけ団体があるんだったら、どこかに公開してもいいっていう団体さんの連絡先、電話番号が掲載されていたら、ちょっと広がる可能性があるんじゃないかなと思いました。そのあたりをお聞かせいただきたい。

影山

登録数は増えてはいるんですが、実際には工科大生や県外へ行かれた方でも、ご本人から連絡がない限りはそのままになりますので、正直なところその影響もあります。登録としては、市内の方も多いますが、高知市、南国市、香南市の方も登録はあります。

福田委員

個人じゃなしに団体になるの？

影山

団体としての登録となりますが、個人の名前で登録して、友人と3人とかという方も団体としての登録となります。

福田委員

ちょっと友達と汗を流したいなというときに、あいちゃったら個人で使うということもあるの？

影山

そういうこともありますけれども、1回限りでない方は登録をしてもらっています。

一度登録いただいたら、自宅や外出先でスマホやパソコンで空き状況が見えて、予約もできますので、便利だとは思いますが。

近藤委員

ひょっとその人たちとつながりたいという人がいたら。

影山

例えば、バドミントンやりたいという問い合わせがあったら、市役所の方から代表さんに連絡して、こういう方がいらっしゃいますけれども連絡先等教えて構わないかお問い合わせして、つなぐことはあります。

近藤委員

こんな取り組みがされていますよとお知らせするようなことはしてないですか。文化団体だったら、冊子ができていたりしますけれども。

影山

スポーツ協会とスポーツ少年団については、一覧があり、スポーツ少年団は各学校や公共施設に張り出してお知らせしています。

福田委員

彼らは、移住をやりゆうがやき、移住してきた人が、向こうでバドミントンやりよったきやりたいけど、どっかないか、といわれたときに、一覧があったら繋げる。なんか、そんな仕掛けがあってもいいのかな。

佐々木委員長

例えば、こんな団体さんがあります、や市から問い合わせします、というような流れを書いたものを置いてもらうとか、そんなこともきっかけとしていいのでは。

福田委員

(システム) これメンテナンスとかしてないですか？

影山

そこまではしてないです。本人からの申し出になります。

福田委員

仲間を募集したい団体とか登録するシステムになれば、いいけど。  
システムが対応できているか分からないけど。

近藤委員

本気の団体さんに初心者の方が入っていても、一緒にできないかもしれないので、そう  
いったところも分かります。

佐々木委員長

では以上で議事は終了となります。現在の社会教育委員の任期が令和8年の3月31日まで  
となります。現在の委員での会議は、本日が最後となります。

(各委員挨拶)

宇根

それでは以上を持ちまして、令和7年第2回社会教育委員会を終了します。皆様あり  
がとうございました。

終了